

注意

この情報は昨年度の入試情報です。

2012年度

龍谷大学

帰国生徒特別入学試験要項

中国引揚者等子女特別入学試験要項

社会人推薦入学試験要項

目 次

龍谷大学 入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	2
-----------------------------------	---

入学試験要項

帰国生徒特別入学試験	5
中国引揚者等子女特別入学試験	8
社会人推薦入学試験	10

共通事項

出願書類送付先	13
受験料とその納入方法	
授業料等返還制度	
学費等	14

龍谷大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

龍谷大学は、建学の精神（浄土真宗の精神）に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生（ともいき）の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成することを「教育にかかる基本方針」として掲げています。この基本方針に基づき、次の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を掲げています。

龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、価値観が多様化する社会において、本学の建学の精神を体現するための意欲と各学部での教育に必要な適性を有した学生を、幅広く受け入れることを基本とします。

各学部は、龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のもと、各学部それぞれの学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針に基づき、各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めるとともに、各入学試験を設定しています。

■各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○文学部

文学部では、建学の精神に基づいて、人文学の知的体系の研究・教授を通じ、現代社会の複雑な変化や諸問題に、自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ、社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 文学部の教育理念や目的を十分に理解している人
- 2) 明確な目的意識と学修意欲とを持った人
- 3) 人文学の基盤となる「言葉」に対する鋭い感覚と正しい理解、そして豊かな運用能力のさらなる向上をめざして努力することのできる人

については、高等学校等での学習では、直接「言葉」に関する教科である「国語」、「英語（外国語）」を中心としつつ、志望する学科・専攻での専門的な学修に必要な基礎的学力を養うる教科についても幅広く学んでおくことを望みます。

○経済学部

経済学部では、21世紀初頭において日本と世界の経済が大きな転換期を迎えるなかで、経済のグローバル化、情報化、地域経済の役割の増大などといった現代社会が直面する課題に対応できるような人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 社会に対する幅広い関心を持ち、主体的に学修できる人
- 2) 様々なツールを用いて、自己を豊かに表現する能力をもった人
- 3) 新たな問題を発見し、その解決に自ら進んで取り組む人

については、高等学校等での学習では、経済学部で教育を受けるうえで必要な幅広い教科の内容をしっかりと勉強することを望みます。

○経営学部

経営学部では、学生のそれぞれの学修目標にあわせて、少人数の演習学修と、理論と実践を組み合わせたカリキュラムを提供することによって、変化の激しい時代に対応でき、社会から信頼される経営人（働くことを通して社会に貢献する人）を養成することを目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 明確な目的意識と学習意欲をもった人
- 2) さまざまな場面で基本的な能力として求められるコミュニケーション能力をもった人
- 3) 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人

については、高等学校等での学習では、国語や外国語の習得によりコミュニケーション能力を磨き、また社会科科目の幅広い習得により知的好奇心を高めることを望みます。

○法学部

法学部では、日本国憲法の理念を基礎に、法学と政治学の教育・研究を通じて、広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し、鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる、自立的な市民の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に生起する諸問題に広く関心を有するとともに、その解決に取り組む意欲を有する人
- 2) 問題を論理的に分析する能力や、自らの意見を論理的に表明する能力を有する人
- 3) 自ら問題を発見し、それについて自ら考え、行動する能力を有する人

ついては、高等学校等での学習では、国語や英語の学習を通して論理的思考力を養うとともに、他者の考えを理解し自らの考えを表明する力を鍛えること、歴史などの社会科科目の学習を通して現代社会に対する問題意識を高めることを望みます。

○政策学部

政策学部では、幅広い教養と専門的な知識を身につけて社会の持続可能な発展のために行動し、協働型社会を担うために必要な公共性と市民性を持ち、国際的な視点から政策を提案し実行する能力を備えた人の育成をめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 人文・社会・自然科学の領域について幅広い関心を持ち、総合的な観点から現代社会の課題解決に取り組む意欲を持っている人
- 2) 国際的な視点から都市問題、環境問題などの地域社会の課題を解決することに関心を持っている人
- 3) 協働型社会を支える公共性と市民性を学ぶ意欲を持ち、政策立案と実施能力を備えた専門的職業人となるために勉学に取り組む人

ついては、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力と論理的思考力を養い、国内外の社会問題に関心を持てるように、幅広く勉強することを望みます。

○理工学部

理工学部では、現代の自然科学を代表するキーワードである「情報」「システム」「エネルギー」「材料・物質」「環境」に対応し、人間と地球環境に調和した科学・技術の発展を支える6学科で構成されています。それぞれの学科において、最新の理学と工学を融合させることにより、新しい視点に立った学問の道を開き、時代の要請にかなった先端技術の発展に寄与しうる人材の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 広い分野にわたり基礎学力に優れ、科学的センスを持っている人
- 2) 明確な目的意識と勉学意欲を持っている人
- 3) 知的好奇心や自然科学への関心を持っている人

ついては、高等学校等での学習では、科学技術を学ぶ上で不可欠な英語・数学・理科を中心に、理工学部で教育を受ける上で基本となる高校での教科を幅広くしっかりと勉強していることを望みます。

○社会学部

社会学部では、社会を単なる人と人との結びつきにとらえるだけでなく、社会と環境との結びつきをも重視する必要があると考え、社会や地域における多様な関係を尊重する教育理念を掲げています。このような理念のもと、IT化、グローバル化、少子高齢化など急速な社会変化によって生じる、現代社会の諸課題に対して、創造的に対応できる知識や専門的能力、問題解決能力を持った人の育成をめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に関して幅広く関心を持ち、社会学部の教育理念を深く理解し、明確な目的意識をもって勉学に取り組む人
- 2) 社会や地域に生起する諸問題を分析し、その解決を図る方法について考察する能力をもった人（社会学部・コミュニティマネジメント学科）
- 3) 社会福祉の展開に関して強い関心を持ち、社会や地域における福祉活動や対人援助の専門職として社会に貢献する姿勢をもった人（地域福祉学科・臨床福祉学科）

ついては、高等学校等での学習では、様々なコミュニケーションを行う上での基本ツールとなる国語、英語を中心として、社会や身の回りのさまざまな事象に興味、関心が持てるよう、すべての教科を幅広くしっかりと勉強することを望みます。

○国際文化学部

国際文化学部では、自己の文化への理解を基軸としながら、異文化を理解し、かつ尊重し、多様な国際的コミュニケーションのできる能力と人格をそなえた人材の育成を目指しています。外国語運用能力の向上を図るとともに、国際文化の専門領域を国際共生、芸術・メディア、地域文化、言語・教育など様々な視点からとらえ学習を深めます。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 国際社会の発展に貢献したいという明確な目的意識をもった人
- 2) 学部の教育理念を理解し、自身が興味関心の高い国・民族・文化などの専門領域を積極的に学んでいこうとする勉学意欲の高い人
- 3) 外国語の能力が高く、さらに力をつけたい人

ついては、高等学校等での学習では、入学までに必要な基礎学力として、様々なコミュニケーションを行う上での基本ツールとなる英語、国語を中心として、国際文化を学ぶ上で基本となる地理・歴史等、社会や文化に関連する科目を幅広く勉強し、併せて日頃から国内外の社会の動向に関心を持つことを望みます。

○短期大学部

〈社会福祉学科〉

短期大学部では、講義や演習だけでなく、社会福祉施設や保育園等における実習教育など、実社会での実践的・体験的な学びを重視しています。そのような学びの中で、豊かな人間性、共生（ともいき）の精神、広い学識、進取の精神、福祉全般にわたる基礎的教養、専門的知識、実践的能力を身につけた人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 読み書きなどの基礎的な学力を確実に身につけた人
- 2) 行動力や主体的に学ぶ姿勢、社会性、多様な立場の人たちとコミュニケーションをとる力、体験をとおして多くのことを感じ取るための鋭い感性、そして、体験をとおして感じたことを整理する力。つまり思考力や文章力など、実践的・体験的な学習に必要な力をもった人
- 3) ディスカッションを行う能力や、ディスカッションをとおして多様な考え方があることを知り、多様な考え方から多様なことを柔軟に学び取る能力をもった人
- 4) 短期大学部の教育理念を深く理解し、明確な目的意識と勉学意欲をもった人

ついては、高等学校等での学習では、コミュニケーションを行う上での基本ツールとなる国語、英語を中心として幅広く教科を勉強し、基礎的な学力を確実に身につけるとともに、入学までにさまざまな体験に積極的にチャレンジし、明確な目的意識を形成し、体験をとおしてさまざまなことを学び取ることに慣れておくことを望みます。

〈こども教育学科〉

次代における保育・幼児教育の専門職養成をめざす、こども教育学科のアドミッションポリシーは、その目的達成のために以下の3点の適性を重視して入学者の選抜を行う。

- 1) 教育の前提であり、保育・幼児教育の専門職となるための適性として、一定程度の国語力（読む・書く・話す等、言語的なコミュニケーションの力）を有する者であること。
- 2) 専門職となるための適性として、相応の生活経験（掃除、調理や洗濯等の家事遂行の経験等）を有する者であること。
- 3) 保育・幼児教育現場の特性に考慮し、一定程度の臨機応変な対応能力（即興で課題に取り組む意欲や機転、発想力等）を有する者であること。

帰国生徒特別入学試験

募集学部・募集人員

募 集 学 部	募 集 人 員
国際文化学部	30名(留学生・中国引揚者等子女含む)
文学部、経済学部、経営学部、法学部、政策学部、理工学部、社会学部、短期大学部	各学部とも 若干名

※経済学部は現代経済学科、国際経済学科の2学科で一括して募集を行います。

出 願 資 格

保護者の海外勤務、その他の事情により外国の学校教育を受け、2010年4月1日以降に帰国し、次の(1)から(5)のいずれかに該当する者。

- (1)外国の高等学校において、最終学年を含め2学年以上在学し、外国において、学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育を含む)を2010年4月1日以降に卒業(修了)した者および2012年3月卒業(修了)見込みの者。
- (2)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格またはこれに準ずる資格を取得した者で、2012年3月31日までに18歳に達する者。
- (3)日本の高等学校もしくは中等教育学校を2012年3月卒業見込みの者で次のいずれかに該当する者。
 - ①外国の高等学校に2学年以上在学した者。
 - ②外国の中学校・高等学校を通じて3学年以上在学した者。
- (4)外国において正規の教育制度に基づく教育を受け、帰国生徒の受け入れを主たる目的として設置された高等学校(財団法人海外子女教育振興財団A1群高等学校)に編入した者で、2012年3月卒業見込みの者。
- (5)その他、上記(1)および(2)と同等以上の資格を有すると認められる者。

注1. 外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学した者については、その期間は、外国の学校教育を受けたものとはみなされません。

2. 外国の学校教育において「飛び級」または「繰り上げ卒業」により通常の12年の課程を満たさずして卒業した者については、審査の上、出願を認めることがあります。

出 願 期 間

2011年10月25日(火)～2011年11月1日(火)〈締切日必着〉

出 願 書 類

- (1)出願シート(本学所定用紙)
- (2)高等学校の卒業(見込み)証明書
- (3)高等学校の成績証明書
複数の高等学校に在学した場合は、すべての高等学校での成績証明書を提出してください。
日本の高等学校卒業(見込み)者は、出身高等学校長が作成した調査書も提出してください。
- (4)学歴記入シート(本学所定用紙)
記入欄が不足する場合は、別紙に記入し添付してください。
- (5)健康診断書(本学所定用紙)
国外居住者のみ提出してください。
胸部X線検査は、撮影年月日が出願前6ヵ月以内のものに限ります。
- (6)国際バカロレア資格取得者は、資格証明書の写しと成績証明書を提出してください。
- (7)外国において、その国の教育制度による統一試験等を受験した場合、その試験の成績(評価)証明書を提出してください。
- (8)「飛び級」「繰り上げ卒業」の場合は、その証明書を提出してください。
注1. いったん提出された出願書類は、返却しません。
注2. 本学が必要と判断した場合は、上記の提出書類の他に、書類の提出を求めることがあります。
注3. 日本語、英語、中国語以外の言語で発行された証明書を提出する場合は、証明書の内容を英語または日本語に訳した書類及び政府機関等が翻訳内容を正式と認めた証明書を併せて提出してください。
注4. 上記(2)高等学校の卒業(見込み)証明書および(3)高等学校の成績証明書について中華人民共和国の高等学校の卒業(見込み)の者は、証明書を政府機関等が正式なものと認めた公証書を提出してください。
注5. 証明書のコピーは一切不可です。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や合否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用するものです。また、入学試験合格者の氏名・住所は、各学部学会、龍谷大学親和会(保護者会)、龍谷大学学友会(在学生自治会)、龍谷大学校友会(同窓会組織)と共同利用します。以上の4組織以外の第三者に、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することはありません。
※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

試験日・試験会場・試験科目・試験時間・合否判定

1. 第1次審査（受験資格審査）

出願書類により、出願者の受験資格の有無を審査します。
 受験資格を有すると判定された者には、受験票を郵送します。
 受験資格無しと判定された者には、その結果を通知します。
 受験資格の審査結果を通知する時期は、試験日の約7日前頃となります。
 第1次審査で受験資格を有すると判定された者のみ、第2次審査を受験することができます。

2. 第2次審査

(1) 試験日・試験会場

学 部	試 験 日	試 験 会 場
文学部・経済学部・経営学部・法学部 政策学部・理工学部・短期大学部	2011年11月27日(日)	龍谷大学深草キャンパス(京都市伏見区深草塚本町67)
社会学部・国際文化学部		龍谷大学瀬田キャンパス(大津市瀬田大江町横谷15)

(2) 試験科目・試験時間

学 部	試 験 科 目	試 験 時 間
文学部・経済学部・経営学部・法学部 政策学部・社会学部・国際文化学部 短期大学部	説明	8:50～9:10
	小論文	9:10～10:10
	面接	10:30～

学 部	試 験 科 目	試 験 時 間
理 工 学 部	説明	12:50～13:10
	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C〕※1 または化学〔化学Ⅰ・化学Ⅱ〕※2から1科目選択 <small>*化学を選択解答できるのは物質化学科と環境ソリューション工学科の受験生のみです。</small>	13:10～14:40
	<small>※1 数学Bは「数列」「ベクトル」、数学Cは「行列とその応用」「式と曲線」が出題範囲です。 ※2 化学Ⅱは「生活と物質」「生命と物質」から出題する場合はいずれかを選択解答できます。</small>	
	面接	15:00～

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

〈合否判定〉

出願書類、試験科目、面接を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、結果は通知しません。

合格発表

2011年12月10日（土）付で、本人宛に特定記録・速達で通知します。
 合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。
 所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2011年12月12日(月)～2011年12月16日(金)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納入金と入学申込金との差額を納入してください。期間内に納入が完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

手続期間 2012年2月1日(水)～2012年2月17日(金)

- 注1. 手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めませんので充分注意してください。
2. 学費・諸会費については、14ページを参照してください。
3. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際通知します。
4. 納入された入学申込金は返還しません。その他の入学時納入金の返還については、13ページの「授業料等返還制度」を参照してください。

中国引揚者等子女特別入学試験

募集学部・募集人員

募集学部	募集人員
国際文化学部	30名（留学生・帰国生徒を含む）

出願資格・出願条件

日本国籍を有する者および日本国の永住許可または定住許可を得ている者で、次の(1)から(3)のすべてに該当し、かつ(イ)から(ハ)のいずれか一つに該当する者

- (1)終戦前（＝昭和20（1945）年9月2日以前）から引き続き中国に居住した者（これを親として戦後中国において出生した者を含む）で、戦後初めて永住の目的をもって帰国した者の子女であること
- (2)帰国後小学校4年以上の学年に入学した者であること
- (3)上記に該当する者で日本語理解、表現に関する能力を有すると本学が認める者

- (イ)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者
- (ロ)通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2012年3月に修了見込みの者
- (ハ)学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2012年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑥のいずれかに該当する者）
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③文部科学大臣の指定した者
 - ④文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、および2012年3月31日までに合格見込みの者で2012年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑤文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
 - ⑥その他本学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※本学では以下の学校を修了した者については出願資格を認めています

【朝鮮高級学校：12校】北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

【外国人学校：5校】東京インターナショナル・ラーニング・コミュニティ、ファウンテン・オブ・ライフ・インターナショナルスクール、インターナショナル・セカンダリー・スクール、横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー、関西クリスチャンスクール

出願期間

2011年10月25日(火)～2011年11月1日(火) <締切日必着>

出願書類

- (1)出願シート（本学所定用紙）
- (2)学歴記入シート（本学所定用紙）
- (3)中国引揚者等子女証明書（本学所定用紙）
出願資格（ハ）に該当する者で、本証明書の提出ができない場合は、その記載内容を証明する書類を提出してください（詳細は入試部へお問い合わせください）。
- (4)調査書（出身学校長が作成し、厳封したもの）
高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（見込み者）は、その「成績証明書」および「修了証明書」等を提出してください。
高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は「合格証明書」を、高等学校卒業程度認定試験合格見込み者は「合格見込成績証明書」を提出してください。

※いったん提出された出願書類は、返却しません。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や可否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用するものです。また、入学試験合格者の氏名・住所は、各学部学会、龍谷大学親和会（保護者会）、龍谷大学校友会（在学生自治会）、龍谷大学校友会（同窓会組織）と共同利用します。以上の4組織以外の第三者に、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

試験日・試験会場

試験日	試験会場
2011年11月27日(日)	龍谷大学 瀬田キャンパス(大津市瀬田大江町横谷1-5)

試験科目・試験時間・合否判定

試験科目	試験時間
説 明	8:50~9:10
小 論 文	9:10~10:10
面 接	10:30~

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

〈合否判定〉

小論文と面接を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、結果は通知しません。

合格発表

2011年12月10日(土)付で本人に特定記録・速達で通知します。
合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。
所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2011年12月12日(月)~2011年12月16日(金)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納入金と入学申込金との差額を納入してください。期間内に納入が完了しない場合は、入学を辞退したものとみなします。

手続期間 2012年2月1日(水)~2012年2月17日(金)

注1. 手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めませんので充分注意してください。

2. 学費・諸会費については、14ページを参照してください。

3. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際通知します。

4. 納入された入学申込金は返還しません。その他の入学時納入金の返還については、13ページの「授業料等返還制度」を参照してください。

募集学部・募集人員

学 部	学 科 ・ 専 攻	募集人員	
文 学 部	真 宗 学 科	若干名	
	仏 教 学 科	若干名	
	哲 学 科	哲 学 専 攻	若干名
		教 育 学 専 攻	若干名
	臨 床 心 理 学 科	若干名	
	歴 史 学 科	日 本 史 学 専 攻	若干名
		東 洋 史 学 専 攻	若干名
		仏 教 史 学 専 攻	若干名
	日 本 語 日 本 文 学 科	若干名	
	英 語 英 米 文 学 科	若干名	
国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科	若干名	
短 期 大 学 部	社 会 福 祉 学 科	若干名	
	こ だ も 教 育 学 科	若干名	

出 願 資 格

〈文学部〉

2012年4月1日現在、満23歳に達し、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ(4)から(6)のいずれかに該当する者

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2012年3月卒業見込みの者
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3)学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者(次の①～⑥のいずれかに該当する者)
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有する者として認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③文部科学大臣の指定した者
 - ④文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、および2012年3月31日までに合格見込みの者
 - ⑤文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
 - ⑥その他本学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※本学では以下の学校を修了した者については出願資格を認めています。

【朝鮮高級学校：12校】北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

【外国人学校：5校】東京インターナショナル・ラーニング・コミュニティ、ファウンテン・オブ・ライフ・インターナショナルスクール、インターナショナル・セカンダリー・スクール、横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー、関西クリスチャンスクール

(4)勤労者等

- ①就業者・就業予定者等(公務員、会社・団体等勤務者、自営者、自活者、就業予定者、自活予定者)
 - ②就業経験のある者(定年退職者等)
- (5)主婦等(主婦、その他家事従事者)
- (6)寺院関係者(浄土真宗をはじめとする仏教各宗派の住職、坊守、寺族、門徒推進員、門徒推進員予定者、門信徒等)

<国際文化学部>

2012年4月1日現在、20歳に達し、かつ2010年3月31日までに次の(1)から(3)のいずれかに該当する者。

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3)学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(次の①から⑥のいずれかに該当する者)

- ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ③文部科学大臣の指定した者
- ④文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- ⑤文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
- ⑥その他本学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※本学では以下の学校を修了した者については出願資格を認めています

【朝鮮高級学校：12校】 北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

【外国人学校：5校】 東京インターナショナル・ラーニング・コミュニティ、ファウンテン・オブ・ライフ・インターナショナルスクール、インターナショナル・セカンダリー・スクール、横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー、関西クリスチャンスクール

<短期大学部>

【社会福祉学科】 社会福祉に明確な志向をもち、本学の建学の精神を理解し、短期大学部社会福祉学科への入学を専願する者で、2012年4月1日現在において22歳に達し、かつ2008年3月31日までに以下の(1)から(3)のいずれかに該当する者。

【こども教育学科】 本学の建学の精神を理解し、短期大学部こども教育学科への入学を専願する者で、2012年4月1日現在において22歳に達し、かつ2008年3月31日までに以下の(1)から(3)のいずれかに該当する者。

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3)学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(次の①から⑥のいずれかに該当する者)

- ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ③文部科学大臣の指定した者
- ④文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- ⑤文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者
- ⑥その他本学において相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※本学では以下の学校を修了した者については出願資格を認めています。

【朝鮮高級学校：12校】 北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

【外国人学校：5校】 東京インターナショナル・ラーニング・コミュニティ、ファウンテン・オブ・ライフ・インターナショナルスクール、インターナショナル・セカンダリー・スクール、横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー、関西クリスチャンスクール

出 願 期 間

2011年10月25日(火)～2011年11月1日(火)〈締切日消印有効〉

出願書類

- (1)出願シート（本学所定用紙）
 (2)自己推薦書（本学所定用紙）
 (3)調査書（出身学校長が作成し、厳封したもの）
 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、その「成績証明書」および「修了証明書」等を提出してください。
 高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は「合格証明書」を提出してください。
 ※いったん提出された出願書類は、返却しません。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や合否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用するものです。また、入学試験合格者の氏名・住所は、各学部学会、龍谷大学親和会(保護者会)、龍谷大学校友会(在学生自治会)、龍谷大学校友会(同窓会組織)と共同利用します。以上の4組織以外の第三者に、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することはありません。
 ※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。
<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

試験日・試験会場

試験日	学部	試験会場
2011年11月13日(日)	文学部	龍谷大学深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町67）
	国際文化学部	龍谷大学瀬田キャンパス（大津市瀬田大江町横谷1-5）
	短期大学部	龍谷大学深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町67）

試験科目・試験時間・合否判定

学部	試験科目	試験時間
文学部	説 明	8：50～9：10
	小 論 文	9：10～10：40
	面 接	11：00～
学部	試験科目	試験時間
国際文化学部 短期大学部	説 明	8：50～9：10
	小 論 文	9：10～10：10
	面 接	10：30～

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

<合否判定> 出願書類、試験科目を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、結果は通知しません。

合格発表

2011年11月18日(金) 付で本人宛に特定記録・速達で通知します。
 合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。
 所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2011年11月18日(金)～2011年11月24日(木)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納付金から入学申込金を差し引いた金額を納入してください。

手続期間 2012年2月1日(水)～2012年2月17日(金)

注1. 手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めませんので充分注意してください。

2. 学費・諸会費については、14ページを参照してください。

3. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際通知します。

4. 納入された入学申込金は返還しません。その他の入学時納入金の返還については、13ページの「授業料等返還制度」を参照してください。

共通事項

出願書類送付先

〒604-8799 日本郵便中京支店留 「龍谷大学入学試験願書受付センター」宛〈郵送に限ります。〉
※本学所定の封筒にて、簡易書留・速達で郵送してください。

受験料・納入方法

受験料 35,000円

- (1)出願シートの振込依頼書に記入の上、金融機関（銀行等）窓口にて出願期間内に納入してください。
取扱金融機関収納印をもって納入とみなします。受験料領収書は本人控えです。
- (2)いったん納入された受験料は、受験意思の表明とみなし、返還しません。

授業料等返還制度

全ての入学手続完了後、入学を辞退される場合は、**2012年3月31日(土)15:00まで（提出書類必着）**に下記の要領で手続をしてください。所定の手続を完了されると、入学申込金（200,000円）を除く入学時納入金を返還いたします。

1. 提出書類

「入学辞退届・授業料等返還願」（本学所定用紙＝合格者に発送する「入学ハンドブック」に綴じ込み）

2. 受付番号取得

所定用紙提出前に、入試部に電話をして、受付番号を取得し、書類の所定の場所にその番号を記入してください。
受付番号の記入していない書類は受理しません。

3. 提出先

龍谷大学入試部（深草キャンパス）

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 TEL：075-645-7887（ダイヤルイン）

*大宮、瀬田キャンパスでは受付をしていません。

4. 提出方法

郵送の場合は、**2012年3月31日(土)15:00までに到着するよう簡易書留・速達で送付してください。**

持参の場合は、**2012年3月31日(土)15:00までに提出してください。**

***2012年3月31日(土)15:00以降の受付は一切いたしません。**

5. 備考

「入学辞退届・授業料等返還願」を郵送された方には、到着後1～2週間程度で、受理通知を、保証人宛に送付します。授業料等の返還金は、2012年4月末日までに指定の銀行口座に振り込みます。

学 費 等

2012年度の学費・諸会費は、次のとおりです（予定）。

第1年次納入金総額（下記の学費と諸会費の合計です。）

（単位：円）

学 部	文 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部	法 学 部 政 策 学 部 国 際 文 化 学 部	理 工 学 部	社 会 学 部	短 期 大 学 部
入 学 時 納 入 金 合 計	622,000	623,000	842,800	640,950	639,950
後 期 納 入 金 合 計	392,000	392,000	612,800	409,950	409,950
総 計（初年度納入金）	1,014,000	1,015,000	1,455,600	1,050,900	1,049,900

●第1年次学費

（単位：円）

学 部	文 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部	法 学 部 政 策 学 部 国 際 文 化 学 部	理 工 学 部	社 会 学 部	短 期 大 学 部
入 学 金 ※1	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
前 期 授 業 料	365,500	365,500	474,500	365,500	365,500
前 期 施 設 費 ※2・3	25,000	25,000	65,000	25,000	25,000
前 期 実 験 実 習 料			71,800	17,950	17,950
小 計（入学時納入金）	590,500	590,500	811,300	608,450	608,450
後 期 授 業 料	365,500	365,500	474,500	365,500	365,500
後 期 施 設 費 ※2・3	25,000	25,000	65,000	25,000	25,000
後 期 実 験 実 習 料			71,800	17,950	17,950
小 計（後期納入金） ※4	390,500	390,500	611,300	408,450	408,450
合 計（初年度納入金）	981,000	981,000	1,422,600	1,016,900	1,016,900

※1 入学金は入学年度のみ納入していただきます。

※2 施設費は、文系学部（短期大学部を除く）の場合、年間250,000円、理工学部の場合、年間330,000円ですが、入学時の学費負担軽減を図るため、入学年度については、年間200,000円を減免しています。

※3 施設費は、短期大学部の場合、年間350,000円ですが、入学時の学費負担軽減を図るため、入学年度については、年間300,000円を減免しています。

※4 後期納入金は、9月末日を納入期限としています。後期学費の納入用紙については、9月上旬に郵送します。

●第1年次諸会費

（単位：円）

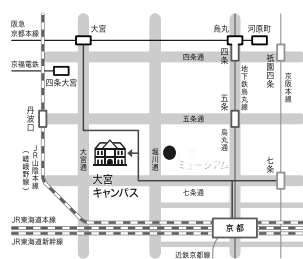
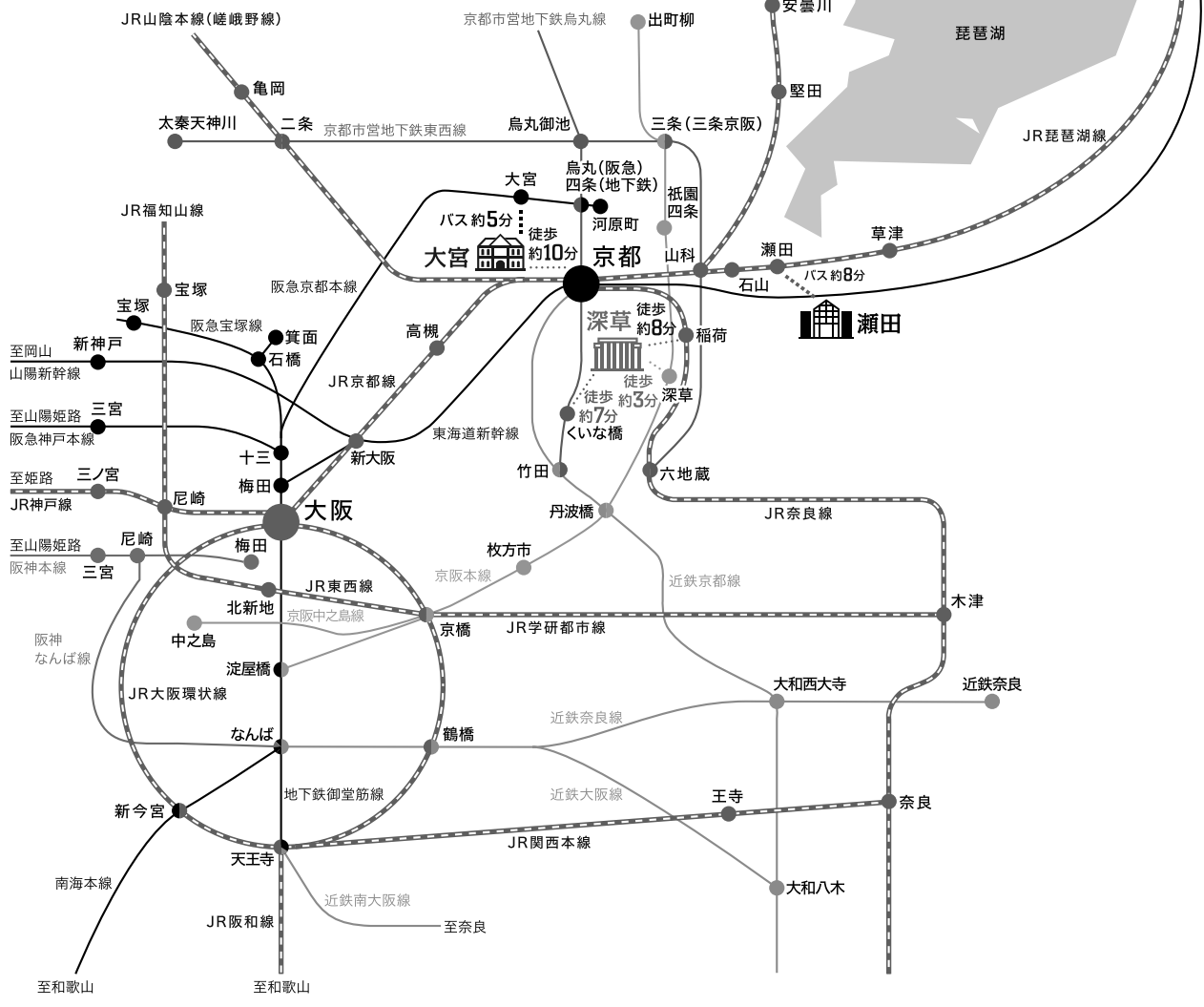
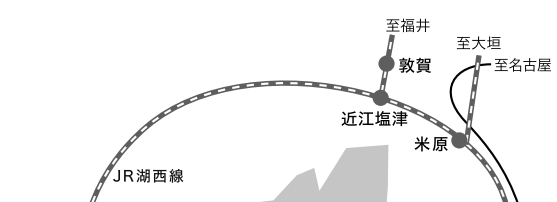
学 部	文 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部	法 学 部 政 策 学 部 国 際 文 化 学 部	理 工 学 部	社 会 学 部	短 期 大 学 部
諸 会 費（入学時納入金）	31,500	32,500	31,500	32,500	31,500
諸 会 費（後期納入金）	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
合 計（初年度納入金）	33,000	34,000	33,000	34,000	33,000

諸会費の内訳について

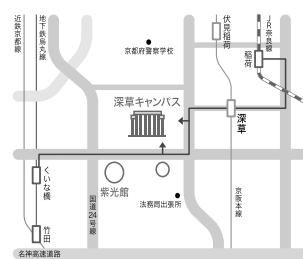
- 各学部等には、それぞれの学術研究の推進のために、専任教員、大学院生、学部学生等で構成する学会を設けています。その学会の会費として、入会金2,000円、学会費〔文学部・経済学部・経営学部・理工学部・短期大学部3,000円、法学部・政策学部・社会学部・国際文化学部4,000円〕を納入していただきます。
- 学友会は、全ての学生によって構成され、学生の声を反映させながら学生生活の改善・向上に取り組んでいる学生自治会です。その会費として、入会金4,500円、学友会費3,500円（前期2,000円、後期1,500円）を納入していただきます。
- 親和会は、学生の父母等でもって構成され、龍谷大学の発展に資し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的としています。その会費として、入会金3,000円、親和会費7,000円を納入していただきます。
- 校友会は、龍谷大学および短期大学部を卒業した人等で、組織されています。終身会費として、40,000円納入していただくことが必要ですが、この会費のうち、10,000円を入学時に予納していただくものです。なお、残額については、卒業年次に納入していただきます。
- 諸会費は、学会、学友会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

アクセス

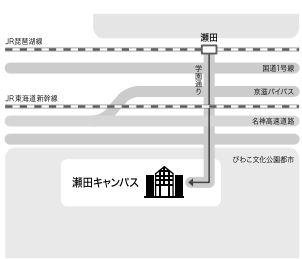
龍谷大学までの経路検索はこちら▼
 龍谷大学 経路検索



Omiya
大宮キャンパス
 ●JR東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分(市バス約3分)
 ●京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
 ●阪急京都線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分(市バス約5分)



Fukakusa
深草キャンパス
 ●JR奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
 ●京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
 ●京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分



Seta
瀬田キャンパス
 ●JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、帝産バス約8分



〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
 TEL:075-645-7887(入試部ダイヤルイン)
 FAX:075-645-4155

<http://www.ryukoku.ac.jp/>

- 大宮キャンパス**
文学部 / 真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、臨床心理学科※1、歴史学科※2(日本史学専攻※2・東洋史学専攻・仏教史学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科
- 深草キャンパス**
文学部 / 真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、臨床心理学科※1、歴史学科※2(日本史学専攻※2・東洋史学専攻・仏教史学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科
- 深草キャンパス**
経済学部 / 現代経済学科、国際経済学科
経営学部 / 経営学科
法学部 / 法律学科、政治学科
政策学部 / 政策学科
短期大学部 / 社会福祉学科、こども教育学科
- 瀬田キャンパス**
理工学部 / 数理情報学科、電子情報学科、機械システム工学科、物質化学科、情報メディア学科、環境ソリューション工学科
社会学部 / 社会学科、コミュニティマネジメント学科、地域福祉学科、臨床福祉学科
国際文化学部 / 国際文化学科

※1 2012年4月開設
 ※2 2012年4月名称変更